

企業景況調査報告書【えひめ版】

愛媛県商工会連合会

全国商工会連合会では、四半期毎に景況調査を実施しており、本報告書は県内商工会地域の景気動向を【えひめ版】として作成したものです。

調査対象期間：令和7年度第3四半期（令和7年10月～12月期）

調査対象企業：150企業 回答企業：150企業

（製造業：31社 建設業：20社 小売業：42社 サービス業：57社）

DI方式

DIとは、各調査項目について〔増加・上昇・好転〕の割合から〔減少・低下・悪化〕の割合を差し引いた値で〔景気動向指数〕を表しています。

*記号とDI値の関係

 快晴 ～30.1	 晴 30.0 ～10.1	 薄曇 10.0 ～▲10.0	 曇 ▲10.1 ～▲30.0	 雨 ▲30.1～
---	--	--	--	---

1. 業況判断DIと天気図（2年間の推移）

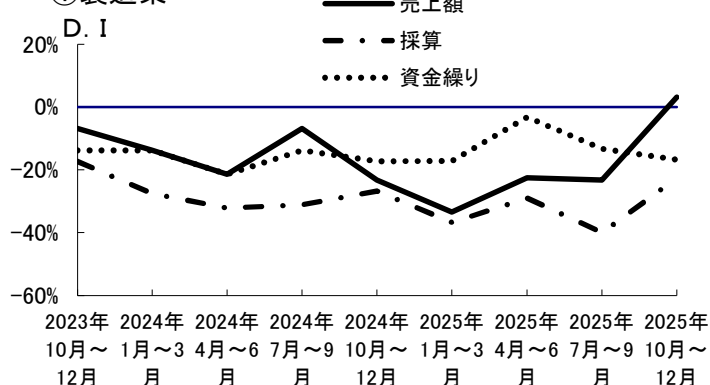
期別	業種別	①製造業		②建設業		③小売業		④サービス業		全体	
	令和5年 10～12月期		▲ 10.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 15.2		▲ 22.8
	令和6年 1～3月期		▲ 20.7		▲ 20.0		▲ 45.2		▲ 19.3		▲ 26.3
	令和6年 4～6月期		▲ 10.8		▲ 15.0		▲ 36.8		▲ 8.7		▲ 17.8
	令和6年 7～9月期		▲ 17.9		▲ 20.0		▲ 41.4		▲ 10.5		▲ 22.5
	令和6年 10～12月期		▲ 26.7		▲ 10.0		▲ 33.4		▲ 5.2		▲ 18.8
	令和7年 1～3月期		▲ 26.6		▲ 20.0		▲ 38.5		▲ 15.5		▲ 25.2
	令和7年 4～6月期		▲ 12.9		▲ 5.3		▲ 21.5		1.8		▲ 9.5
	令和7年 7～9月期		▲ 23.3		▲ 10.0		▲ 21.5		1.8		▲ 13.3
	令和7年 10～12月期		▲ 25.8		▲ 10.0		▲ 28.6		▲ 8.9		▲ 18.3
	令和8年 1～3月期		▲ 12.9		▲ 5.2		▲ 31.0		▲ 10.7		▲ 15.0

（注1）業況判断DIポイント値は、前年同期と比較して業況が「好転」と答えた企業の割合から「悪化」と答えた企業の割合を引いたもの

（注2）「全体」のポイント値は全業種の単純平均値

2. 業種別景気動向

①製造業



＜前期比＞

売上額 : 好転 (▲23.3→3.2 ポイント)

採算 : 好転 (▲40.0→▲22.6 ポイント)

資金繰り : やや悪化 (▲13.3→▲16.7 ポイント)

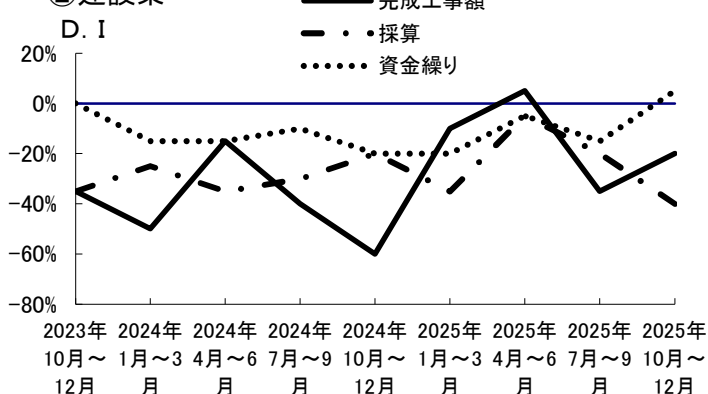
＜経営上の問題点＞(順位と比率)

1位 : 原材料価格の上昇 (45.8%)

2位 : 人件費の増加 (12.5%)

従業員の確保難 (12.5%)

②建設業



＜前期比＞

完成工事額 : 好転 (▲35.0→▲20.0 ポイント)

採算 : 悪化 (▲20.0→▲40.0 ポイント)

資金繰り : 好転 (▲15.0→5.0 ポイント)

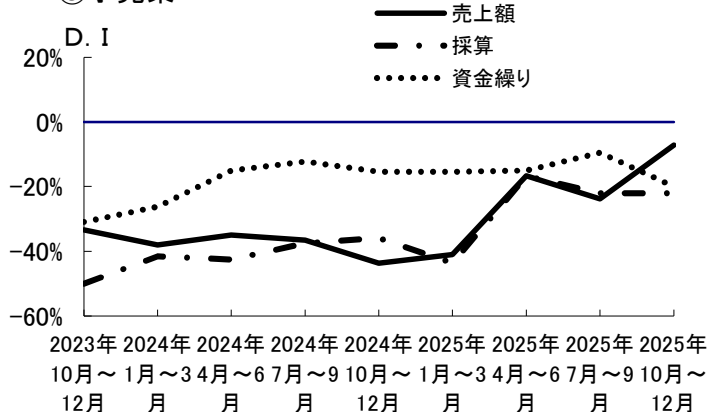
＜経営上の問題点＞(順位と比率)

1位 : 材料価格の上昇 (50.0%)

2位 : 熟練技術者の確保難 (14.3%)

官公需要の停滞 (14.3%)

③小売業



＜前期比＞

売上額 : 好転 (▲23.8→▲7.1 ポイント)

採算 : 横ばい (▲22.0→▲22.0 ポイント)

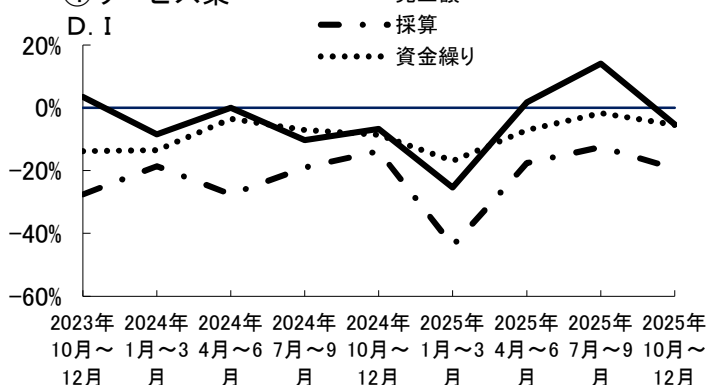
資金繰り : 悪化 (▲9.5→▲20.0 ポイント)

＜経営上の問題点＞(順位と比率)

1位 : 仕入単価の上昇 (37.0%)

2位 : 購買力の他地域への流出 (14.8%)

④サービス業



＜前期比＞

売上額 : 悪化 (14.1 →▲5.3 ポイント)

採算 : やや悪化 (▲12.5→▲19.3 ポイント)

資金繰り : やや悪化 (▲1.7→▲5.4 ポイント)

＜経営上の問題点＞(順位と比率)

1位 : 材料等仕入単価の上昇 (23.9%)

2位 : 従業員の確保難 (21.7%)